

取締役会の構成と充実に向けた取り組み

取締役会の構成

NSKの取締役会の構成は、NSKの中長期の事業戦略や経営課題に鑑み、備えるべき専門性・業務経験等の多様性を考慮し、その規模は議論の実効性を高めるものとしています。

個々の取締役の選任にあたっては、各人の事業や経営全般、あるいは専門領域における経験・知見に加え、経営者としての高い倫理観とコーポレートガバナンスへの見識を求めています。

取締役会のスキル・マトリックス／指名・監査・報酬委員会の構成

◎委員長 ○委員

取締役氏名	社外取締役	取締役就任時期	期待する経験・専門性					指名委員会	監査委員会	報酬委員会
			企業経営/ 経営トップ	コーポレート ガバナンス/ 内部統制	グローバル ビジネス	技術/生産	財務/会計/ 資本政策			
市井 明俊		2017年6月	●	●	●			○		
鈴木 啓太		2023年6月	●	●	●		●			○
野上 宰門		2013年6月	●	●	●		●			
山名 賢一		2021年6月		●	●		●		○	
小原 好一	●	2021年6月	●	●	●	●			○	○
津田 純嗣	●	2022年6月	●	●	●	●		◎		
泉本 小夜子	●	2022年6月		●			●		◎	
藤塚 主夫	●	2023年6月	●	●	●		●	○		
林 信秀	●	2024年6月	●	●	●		●			◎

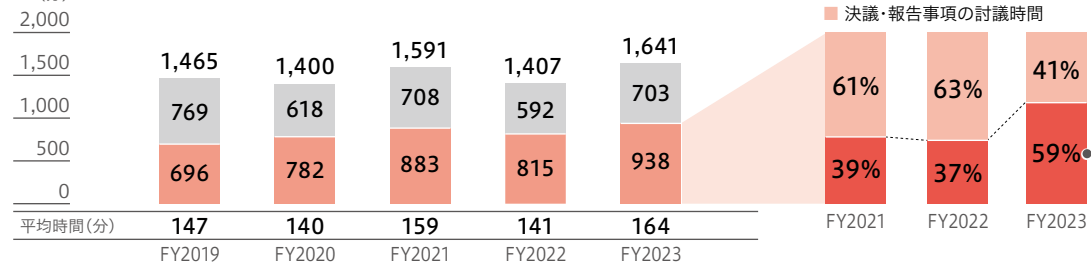
取締役会の充実に向けた取り組み

－ FY2023の取り組み

取締役会は、業務の執行の決定を執行機関へ積極的に委任し、その執行状況を適切に監督するとともに、中長期的な経営課題・方向性等に関するテーマの討議を行っています。また、取締役会における討議の活性化には、情報の事前提供が不可欠と考えており、取締役全員に対する取締役会資料の事前配付に加え、担当役員および取締役会事務局による議事についての詳細な事前説明など、適切な情報提供を行っています。

説明・討議時間の推移

(分) ■ 討議時間 ■ 説明時間



MTP2026関連・中長期テーマ

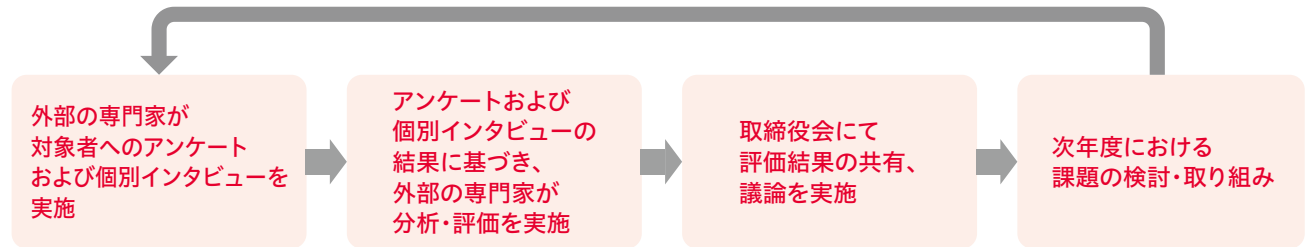
討議内容	関連ページ
MTP2026のモニタリング -産業機械事業、自動車事業 -生産の超安定化 (生産性向上の取り組み)	▶ P.20-21 ▶ P.22-25 ▶ P.32
-カーボンニュートラル -Bearings & Beyond (技術開発の取り組み)	▶ P.42-49 ▶ P.18-19, 30
エンゲージメント調査	▶ P.34-37
ステアリング事業	▶ P.25
人的資本経営	▶ P.34-37
欧州構造改革	▶ P.22

■ 取締役会の実効性評価の概要・実施要領

NSKは、取締役会が適切に機能しているかを検証し、かつその実効性のさらなる強化を目的とした取締役会の評価を、FY2015以降毎年実施しています。評価に際しては、客観性を確保するため外部の専門家に委託し、全取締役に対するアンケートおよびアンケートの回答を踏まえた個別インタビューを実施しています。

FY2023は、アンケートおよび個別インタビューの結果、取締役会の実効性は向上していることが確認されました。特に、MTP2026の進捗確認が着実に進展し、大きな意思決定であったステアリング事業の合併化に取締役会が密接に関与する等、取締役会における討議の充実などが高く評価されました。

評価プロセス



- 対象者：取締役9名
- アンケート項目：① 経営戦略・リスク管理 ② 取締役会の構成 ③ 取締役会の役割・プロセス ④ 会議運営
⑤ ステークホルダーエンゲージメント ⑥ CEO後継者計画 ⑦ 委員会等 ⑧ カルチャー ⑨ 取締役の貢献
⑩ 討議テーマの重要度と議論量
- 個別インタビュー：アンケートの回答を踏まえ、外部の専門家による個別インタビューを実施

FY2022の課題とFY2023の取り組み

FY2022の課題	FY2023の取り組み
事業構造改革に向けた 取締役会の役割共有	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会議長、社外取締役およびCEOが取締役会の議題を討議し、決定するプロセスを開始 ● ステアリング事業の合併会社設立に関して、踏み込んで関与
MTP2026 モニタリングの徹底・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役相互のモニタリングの認識合わせと執行側との連携 ● MTP2026テーマに関する討議の充実
社外取締役の貢献の さらなる深化	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場視察、工場における取締役会再開による社外取締役の事業理解の深化 ● 社外取締役同士の定期会合の再開によるコミュニケーションの充実

FY2023の課題と今後の主な取り組み

FY2023の課題	今後の主な取り組み
ステークホルダー視点による 議論の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主や資本市場の視点および意見等を踏まえた議論（サステナビリティ含む）の充実 ● 株主や資本市場との対話並びに情報開示のさらなる充実
モニタリングのさらなる 高度化	● 重要テーマごとの進捗モニタリングに加え、事業環境の変化に応じたMTP2026の更新
「守りのガバナンス」への 意識合わせと適切な関与	● 守りのガバナンス（リスク管理、内部統制、グループガバナンス等）についての認識合わせと適切な関与
指名委員会のテーマへの 関与	● 取締役会として情報共有を受け、適宜討議を実施